

大阪市の死亡野鳥・神戸市の飼養鳥から 高病原性鳥インフルエンザウイルス検出！

大阪府大阪市で回収された死亡野鳥及び兵庫県神戸市の飼養施設で衰弱したハシブトガラスと接触した猛禽類（ハリスホーク）から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されました。

野鳥は、**国内77例目**、**大阪府内では初の事例**となります。

飼育鳥は、**国内2例目**、**兵庫県内では初の事例**となります。

◎**近隣府県における野鳥及び飼養鳥の事例**です。

◎**今一度、飼養衛生管理基準の点検、野生動物侵入防止や消毒などの発生予防対策等、警戒をお願いします。**

★家きん（4県4事例）

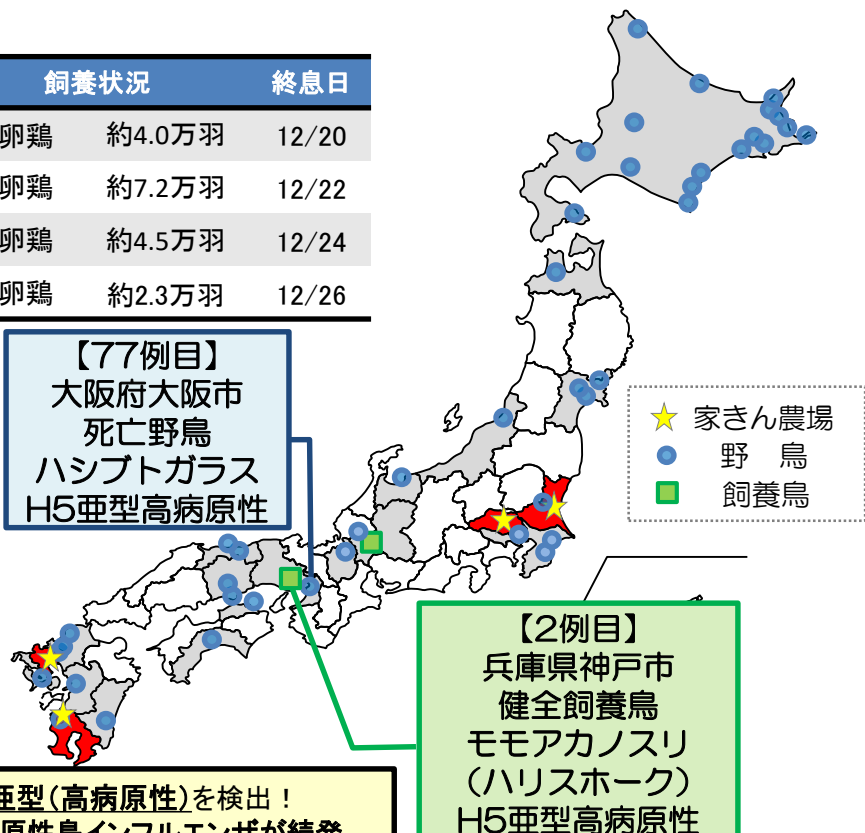
例目	都道府県	市町村	飼養状況	終息日
1	佐賀県	鹿島市	採卵鶏 約4.0万羽	12/20
2	茨城県	笠間市	採卵鶏 約7.2万羽	12/22
3	埼玉県	毛呂山町	採卵鶏 約4.5万羽	12/24
4	鹿児島県	出水市	採卵鶏 約2.3万羽	12/26

●野鳥（21都道府県80事例）

北海道、宮城県、鹿児島県、岡山県、千葉県、鳥取県、香川県、高知県、富山県、東京都、茨城県、岐阜県、宮崎県、熊本県、**佐賀県※**、新潟県、**滋賀県**、長崎県、福岡県、青森県、**大阪府**

■飼養鳥（2県2事例）

岐阜県、**兵庫県**



【77例目】
大阪府大阪市
死亡野鳥
ハシブトガラス
H5亜型高病原性

【2例目】
兵庫県神戸市
健全飼養鳥
モモアカノスリ
(ハリスホーク)
H5亜型高病原性

※佐賀県の死亡ハヤブサからH5N6亜型(高病原性)を検出！
韓国の家きん農場で同亜型の高病原性鳥インフルエンザが続発しているため、警戒が必要！

高病原性鳥インフルエンザ

発生予防のポイント

1. 農場に入る全ての**人・車両・物品**は衛生対策を徹底！
2. 衛生管理区域・家きん舎ごとに**専用の長靴**を着用！
3. ウイルスを媒介する**野生動物の侵入防止対策**の徹底！
4. 毎日健康観察を実施し、**早期発見、早期通報**を！

